

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	既成市街地区公園施設新設事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	08	04	07	02	58
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	みどりの課				
施策	1-1		生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理	主管課長	天川 一典				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	既成市街地区の公園施設	意図	市民が憩い安らげる場を提供するため、適切な公園施設の整備を行う。
事業内容	既成市街地内の公園緑地を整備し、地域住民の利便に供する。			
事業開始から現在までの状況変化	市民の公園に対する要求が高度化してきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	公園等整備件数			2		件
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・大堀川左岸側の駒木橋～新駒木橋間L=200mに桜並木の整備を行った。 ・三輪野山近隣公園の老朽化した木製遊具を撤去し、複合遊具の整備を行った。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				16,349,300				
事業費(b)(円)				12,916,800				
うち一般財源				12,916,800				
職員給与費(c)(円)				3,432,500				
人役・職員(人)				0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	公園内施設の更新整備を実施する。	③取組の課題	自治会等の要望に対し地域バランスを考慮しながら対応する必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	優先順位を見極め遊具更新を実施した。	④今後の改善計画	自治会意向を確認しながら整備を行う。